



PRESS RELEASE 2022.04.25

大阪中之島美術館開館記念展「みんなのまち 大阪の肖像」 第2期／「祝祭」との共鳴。昭和戦後・平成・令和 展覧会詳細のお知らせ

2022年 8月6日（土）－10月2日（日）

「みんなのまち 大阪の肖像」は、大阪中之島美術館の開館を記念して、当館の建つ地である「大阪」をテーマに、明治から現代へと時代の流れとともに変遷してきた大阪の“肖像”を2期にわたり紹介する展覧会です。

現在開催中の第1期（「都市」への道標。明治・大正・昭和戦前）に続き、8月6日（土）より「第2期／「祝祭」との共鳴。昭和戦後・平成・令和」を開催します。この第2期では、焼野原から人々が力強く立ち上がった戦後復興期から、1970年（昭和45）の日本万国博覧会、そして現代へと、新しい何かを求め新しい何かに翻弄されながら、起伏の激しい時代を生きるまちとその表情をご覧ください。



家電や工業化住宅は、いまや私たちの暮らしの当たり前となっているものですが、高度経済成長期に誕生した当初は、新しいライフスタイルを表現する憧れの的でした。モノが溢れだしたこの時代は、芸術活動もさらに活発化し、これまでにない新たな表現が次々と登場します。広告は華やかな競争の場となり、デザイナー同士で表現を高め合う場面もみられました。人々を熱い渦に巻き込んだ70年万博を経て、世紀を超えてなお個性豊かな大都市としての歩み続ける大阪。2025年（令和7）には2度目の万博を迎えます。その発展と変貌の軌跡を、絵画、ポスター、家電、実物大工業化住宅など作品・資料約300点によってご覧いただきます。

美術とデザインを活動の両輪とする当館ならではのコレクションを中心に、大阪府市内外の美術館・博物館や企業などからの出品を加え、大阪の魅力を広く深く掘り起こします。つきましては、展覧会の告知についてご協力賜りますようお願い申し上げます。

上より 前田藤四郎《盛場近し》1951年 大阪中之島美術館蔵／松下電器産業株式会社《ナショナルテレビ 嵯峨（TC-96G）》1965年 パナソニックミュージアム蔵／白髪一雄《赤牌》1970年 大阪中之島美術館蔵



〈展示構成〉

- 第1章 おおさか時空散歩 ― 焼野原からの始まり
- 第2章 デパートというメディア
- 第3章 ニューライフからの情景
- 第4章 芸術のリパブリック
- 第5章 カーニバルの記憶
- 第6章 おおさか時空散歩 ― 明日へのはじめまして



〈主要出品作家・資料〉

池島勘治郎、泉茂、今竹七郎、岩宮武二、上田健一、宇佐美圭司、内海柳子、瑛九、奥野英雄、片山利弘、木村恒久、白髪一雄、田中一光、津田洋甫、津高和一百々俊二、永井一正、中村真、畠山直哉、早川良雄、前田藤四郎、森村泰昌、森山大道、やなぎみわ、山城隆一、山中嘉一、横尾忠則、吉原治良、吉原英雄、シャープ、積水ハウス、象印マホービン、パナソニック、他（作家・企業名別 50 音順）



第2期 3つのみどころ

1. 戦後の大阪の、変わりゆく眺めを一望に！

大阪の戦後史は、大阪大空襲で焼野原と化した都心の復興にはじまります。高度経済成長期には、安治川沿いや臨海部で重工業が栄え、まちも活気にあふれました。船から自動車へと交通手段が変遷する中、かつて大阪市内のあちこちに流れていた堀川は次々に埋め立てられ、道路などになりました。起伏の激しい時代の流れの中で、変わりゆく大阪の眺めを、本展覧会では数々の貴重な風景画を集めてご紹介します。時代を超えて変わらない、大阪の「水の都」としての姿も、あわせてご覧いただけます。

2. 1970年代実物大工業化住宅「みんなのおうち」が登場！

戦後、大阪は弱電産業の集積地「家電王国」となり、家庭向け電化製品を国内外に広く供給。豊かでモダンな暮らしを先導しました。また、今や私たちの住まいのスタンダードとなった「工業化住宅」は、戦後に登場したまったく新しい商品であり産業でした。そして、異業種から参入し大阪で成長したメーカーが多いの

も、大きな特徴のひとつです。言いかえれば、大阪は、私たち一人一人の小さくも大切な暮らしを支え、そのスタイルや価値をかたちづくってきたのです。本展覧会では、積水ハウスの全面的な協力と多数のメーカー各社の熱意により、1970年代の工業化住宅を実物大で再現。住宅の外観や構造をご覧いただくだけでなく、実際に上ることができる「おうち」空間のなかで当時の内装や設備、家電製品をじっくり体感いただけます。

また、おうちの名前も募集いたします。

「みんなのおうちの ○○さんち。」募集の詳細は当館イベントページをご覧ください。

<https://nakka-art.jp/event-post/ouchi-osaka-portrait/>



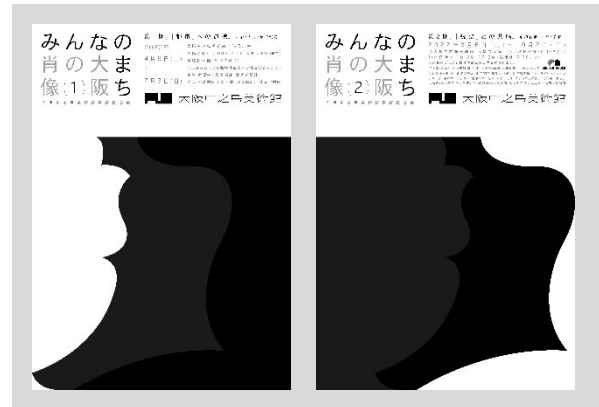
上より 1970年代の実物大工業化住宅（イメージパース） 積水ハウス株式会社／やなぎみわ《案内嬢の部屋 B1》1997年 大阪中之島美術館蔵／早川良雄《第11回秋の秀彩会》1953年 大阪中之島美術館蔵

3. EXPO'70の高まりを作品と資料で体感！

1970年（昭和45）に開催された「EXPO'70 日本万国博覧会」は、大阪を熱気で包み込みました。芸術家も様々なかたちで万博に関わります。美術グループ「具体美術協会」は、展示やイベントを通じて作品を発表しました。グラフィックデザイナーは、ポスターなど万博の広報物の制作に関わります。本展では、万博に関連する作品や、当時の賑わいや熱気を伝える資料を、美術作品とデザイン作品の両方を有する大阪中之島美術館ならではの視点でお届けします。

展覧会メインヴィジュアルについて

「みんなのまち 大阪の肖像」展のメインヴィジュアルを担当するのは、2025年大阪・関西万博のロゴマーク最優秀作品を手掛けた、TEAM INARI代表 シマダタモツ（有限会社シマダデザイン）です。



■開催概要

- 展覧会名 | 大阪中之島美術館開館記念展「みんなのまち 大阪の肖像」
第2期 「祝祭」との共鳴。昭和戦後・平成・令和
- 会期 | 2022年8月6日（土）－10月2日（日）
- 開館時間 | 10:00－17:00（入場は16:30まで） 月曜日休館（9月19日を除く）
※災害などにより臨時で休館となる場合があります。
- 会場 | 大阪中之島美術館 5階展示室
- 観覧料 | 一般 1200 円（1000円） | 高大生 800円（600円） | 小中生 無料
* 税込み価格。カッコ内は20 名以上の団体料金。
* 第1期＋第2期セット券も販売しています。（一般 2000円 高大生 1200円 小中生 無料 | 団体料金は各200円引き | 第1期の会期終了までの限定販売）
- 主催 | 大阪中之島美術館、NHK大阪放送局
- 特別協力 | 積水ハウス株式会社



- 協力 | B X ティアール株式会社、DIC デコール株式会社、TOTO株式会社、朝日ウッドテック株式会社、王建工業株式会社、株式会社キョーライト、クリナップ株式会社、シャープ株式会社、積水ホームテクノ株式会社、象印マホービン株式会社、株式会社ハウテック、パナソニックグループ、不二サッシ株式会社（アルファベット順・50音順）
- VR協力 | Uttzs ウツス by Panasonic
- 助成 | 公益財団法人三菱UFJ信託地域文化財団、公益財団法人ユニオン造形文化財団
- ホームページ | <https://nakka-art.jp/exhibition-post/osaka-portrait-2022/>



NAKANOSHIMA
MUSEUM OF ART, OSAKA

■ 展覧会関連イベント

講演会「大阪万博の戦後史 EXPO'70からEXPO2025に向けて」…①

2022年9月10日（土） 14:00 – 15:30

講師：橋爪紳也（大阪公立大学研究推進機構特別教授）

会場：1階ホール 定員：150名

《FUTURE LIFE FACTORY by Panasonic Design》

特別展示「レトロ家電ハックプロジェクト リミックス」…②

2022年8月6日（土） – 28日（日）

会場：5階パッサージュ

ワークショップ「リミックスラボ 絵×音 かいて、きこう」…③

2022年8月20日（土）、8月21日（日）

午前の部（対象：小学生以下）10:30 – 12:00、午後の部（対象：中学生以上）14:00 – 16:30

会場：1階ワークショップルーム 定員：各回15名

担当学芸員によるギャラリートーク…④

2022年8月13日（土）、9月14日（水） 10:30 – 11:30

会場：5階展示室 定員：各回50名

※①③④は、要事前申し込み、参加費無料、ただし展覧会観覧券が必要。詳細は大阪中之島美術館公式ホームページをご覧ください。

※上記の他にも各種イベントを予定しています。決定次第、大阪中之島美術館公式ホームページでお知らせします。

広報に関するお問い合わせ先
大阪中之島美術館 広報担当：平・山本・東森
TEL: 06-6479-0560 Email: pr@nakka-art.jp
〒530-0005 大阪市北区中之島4-3-1
URL: <https://nakka-art.jp>

プレス用画像一覧 掲載ご希望の画像番号を申込書に明記し、メールにてお送りください。

No.	画像	画像・作品キャプション
1		前田藤四郎《盛場近し》1951年 大阪中之島美術館蔵
2		早川良雄《第11回秋の秀彩会》1953年 大阪中之島美術館蔵
3		松下電器産業株式会社 《ナショナルテレビ 嵯峨 (TC-96G)》1965年 パナソニックミュージアム蔵
4		1970年代の実物大工業化住宅（イメージパース）積水ハウス株式会社
5		白髪一雄《赤牌》1970年 大阪中之島美術館蔵
6		やなぎみわ《案内嬢の部屋 B1》1997年 大阪中之島美術館蔵
7		「みんなのまち 大阪の肖像」展告知チラシ（第1期）
8		「みんなのまち 大阪の肖像」展告知チラシ（第2期）
9		大阪中之島美術館（外観）

*** 注【画像の使用について】**

- ・画像への文字載せ、大幅なトリミング、色調の改変はご遠慮ください。
- ・画像使用の際は、キャプションを併記してください。
（各キャプションの太字は必ずご掲載ください。）